

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度 （対象期間：2023年6月1日～2024年5月31日）



作成日 ： 2024年6月1日

 (株) 共栄建設



目 次

- 1、組織の概要
- 2、環境経営方針
- 3、実施体制図(役割・責任・権限表)
- 4、環境経営目標
- 5、環境経営計画
- 6、活動実績とその評価
- 7、問題点の是正処理及び予防処置の結果
- 8、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
- 9、代表者による全体の評価と見直し・指示



1、組織の概要

1)事業所名及び代表者名

株式会社共栄建設
代表取締役 関 公子

2)所在地

本社 〒389-0517
長野県東御市県529番地1
電話0268-75-2231
倉庫 長野県東御市和1978-7・1980-2

3)事業内容 総合建設業(建築工事・土木工事)

4)従業員数 4名

5)環境管理責任者 渡邊修

7)事業の規模 設 立 昭和50年10月
資 本 金 2000万円
事 業 年 度 6月～5月

8)認証・登録範囲 全組織・全活動

2、環境経営方針

株式会社共栄建設 環境経営方針

＜基本理念＞

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えています。
建設業活動における環境負荷の低減や社会に貢献し、社員一丸となって自主的・積極的に、環境への取組を進めてまいります。

＜行動指針＞

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
- ③地域の環境にあった設計の提案・計画・工法の取組
- ④水資源の節水
- ⑤地域の緑化保護などのボランティア活動

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

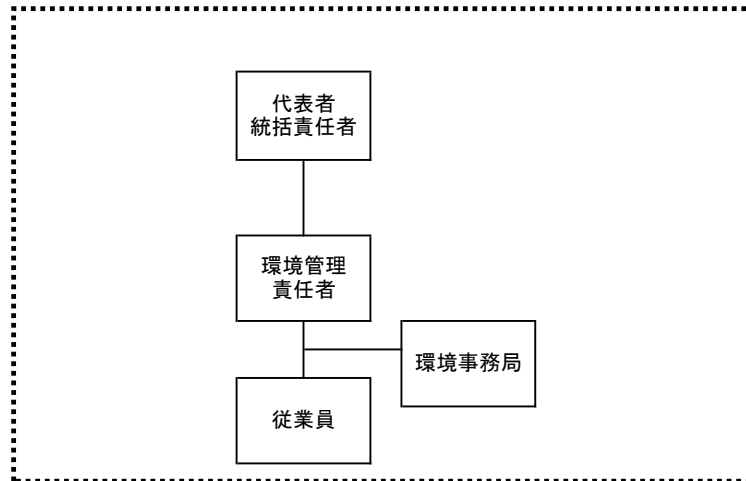
改定日：2020年7月3日

株式会社共栄建設

代表取締役社長 関 公子

3、実施体制

株式会社共栄建設実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4、環境経営目標

6月～5月

環境目標項目	基準値 2018年 (100%)	数 値 目 標			
		2023年度 (92%)	2024年度 (91%)	2025年度 (90%)	2026年度 (89%)
二酸化炭素の排出量の削減 (kg-co2)	15,747	14,487	14,329	14,172	14,014
電気使用量の削減 (kg)	7,500	6,900	6,825	6,750	6,675
ガソリン使用量の削減 (ℓ)	4,150	3,818	3,776	3,735	3,693
灯油使用量の削減 (ℓ)	902	829	820	811	802
液化石油ガス(LPG) (kg)	128	118	116	115	113
一般廃棄物の削減 (kg)	15	13.8	13.6	13.5	13.3
産業廃棄物の削減 (t)	426	392	387	383	379
水資源の削減 (m3)	57	52	51	51	50
緑化保護等のボランティア活動	市・地域主催のイベントに参加				

電力の二酸化炭素調整後排出量換算値(FIT) (中部電力・2018 0.452kg-CO2/kwh)

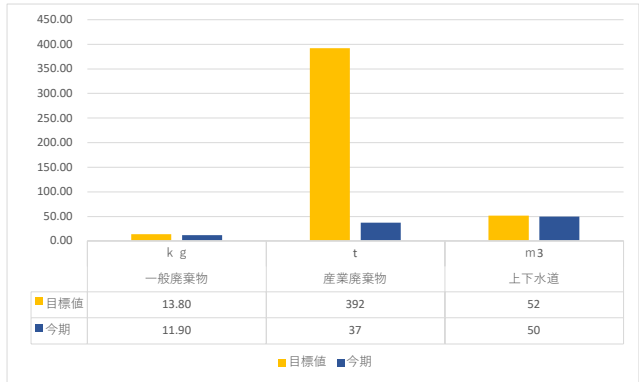
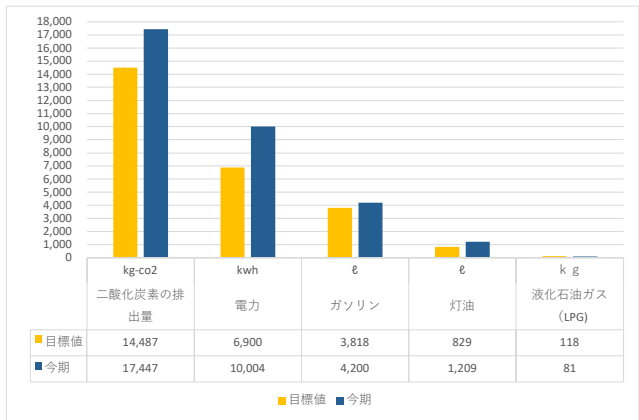
5. 環境経営計画

環境目標項目	目標値 2023年	目標取組内容
電気使用量の削減 (kwh)	6,900	・空調温度の管理(冷房25℃暖房26℃) ・使用していない事務所の電気・空調を切る。 ・エアコンの入れ替え
ガソリン使用量の削減 (ℓ)	3,818	・効率的なルートでの移動(乗合わせ) ・アイドリングストップ
灯油使用量の削減 (ℓ)	829	・使用していない事務所での暖房OFF ・空調温度の管理(暖房26℃) ・暖房機の温度管理
液化石油ガス(LPG) (kg)	118	・必要以上の使用に気を付ける。
一般廃棄物の削減 (kg)	13.8	・裏紙使用での紙の削減 ・現場での材料の再利用(養生・看板等) ・両面コピーの活用 ・紙類(封筒他)の再利用 ・リサイクルの出来る商品の購入 ・ITの活用
産業廃棄物の削減 (t)	392	
水資源の削減 (m3)	52	・節水の推進 ・洗車を減らす
緑化保護等のボランティア活動	・清掃・花植えの参加	

6. 活動実績とその評価

環境目標項目		基準値 2018年	目標値 2023年	実績 2023年	評価
二酸化炭素の排出量	kg-co2	15,747	14,487	17,447	×
電力	kwh	7,500	6,900	10,004	×
	kg-co2	3,720	3,422	4,521	
ガソリン	ℓ	4,150	3,818	4,200	×
	kg-co2	9,628	8,858	9,745	
灯油	ℓ	902	829	1,209	×
	kg-co2	2,246	2,066	3,011	
液化石油ガス(LPG)	kg	128	118	81	○
	kg-co2	267	246	168	
一般廃棄物	kg	15.60	13.80	11.90	○
産業廃棄物	t	426	392	37	○
上下水道	m3	57	52	50	○
緑化保護等のボランティア活動		・清掃・花植えの参加			

(電力の二酸化炭素調整後排出量換算値0.452kg-co2/kwh)



7. 問題点の是正処理及び予防処置の結果

	環境目標項目	目標取組内容	確認評価事項	問題点・確認評価における原因	是正処理及び予防次年度の取組内容
二酸化炭素排出量	電気使用量の削減(kwh)	・空調温度の管理(冷房25℃暖房26℃) ・使用していない事務所の空調を切る。 ・電気商品の節電化	・目標が達成できませんでした。	・エアコンの入れ替えをしましたが、電気量が増えてしまいました。観察したいと思います。	・熱中症対策として温度を高めに設定し、事務所は不在でも冷やそうにしました。エアコン機器の見直しをしながら様子を見たいと思います。
	ガソリン使用量の削減(l)	・効率的なルートでの移動(乗合わせ) ・アイドリングストップ ・ウォームビズの推進	・目標が達成できなかった。 ・ガソリンの使用量が増加している。	・暖房の使用量が増えた為、灯油が増えたと思います。	・車での移動の効率化をはかりたいと思います。 ・室内を少し温めながら温度管理をしたいと思います。 このまま継続して様子を見たいと思います。
	灯油使用量の削減(l)	・使用していない事務所での暖房OFF ・空調温度の管理(暖房26℃)			
	液化石油ガス(LPG)(kg)	・不必要な使用をしないようにする。	・目標の達成ができました。	・特に変わった変化は無かったので様子を見たいと思います。	・このまま様子をみたいと思います。
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減(kg)	・裏紙使用での紙の削減 ・両面コピーの活用	・目標達成出来ました。	・使用している紙の量が少し減ってきたように思われますが、様子を見たいと思います。 ・両面のコピーの活用やメール等の活用が増えた。	・工事によって排出量が変わるので、現状維持をしたいと思います。 ・コピー用紙使用量が分かるようにしたのでこのまま様子を見たいと思います。
	廃プラの削減(t)	・紙類(封筒他)の再利用 ・ITの活用			
	産業廃棄物の削減(t)	・リサイクルの出来る商品の購入 ・現場での材料の再利用(養生・看板等)			
水資源削減	水資源の削減(m3)	・節水の推進	・目標達成できました。	・このまま様子をみたいと思います。	・手洗いや、ブランターの水くれは削減できないので、現状を維持できるか様子を見たいと思います。
社会貢献	緑化保護等のボランティア活動	・ボランティア団体に所属し、年間に何度か活動している。 ・建設業協会でのボランティア活動参加をしている			

8、関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

確認日: 2024年5月27日

法律名等	適用される要求項目	実施時期	確認方法	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物	契約時 変更時	廃棄物搬出状況 搬入状況写真 マニフェストの管理	○
建設リサイクル法	分別解体及び再資源化	契約時 変更時	廃棄物搬出状況 搬入状況写真 マニフェストの管理	○
フロン排出抑制法	フロン回収専門業者によるフロン ガスの回収	施工時	許可業者の選定	非該当
騒音規制法	低層型建設機械の使用 低層型工作機械の使用 作業時間の規制の徹底	常時確認	施工計画書作成時における建設 機械の選定及び現場機械使用 状況の確認	○
振動規制法	低層型建設機械の使用 低層型工作機械の使用 作業時間の規制の徹底	常時確認	施工計画書作成時における建設 機械の選定及び現場機械使用 状況の確認	○
水質汚濁防止法	汚濁水の河川流出への防止方法の 検討 現場内使用燃料の保管方法の検討	常時確認	定期的な水質検査(PH)の確認 オイルバンの設置状況 オイルマットの設置状況	○
大気汚染防止法	特定建築材料の使用調査 使用時は調査報告	設計 施工時	現場状況の確認(調査)	非該当

違反、訴訟等の有無

当社における環境関連法規は上記のとおりです。

環境管理責任者が法規の遵守事項について確認をし、過去3年現在まで違反、訴訟及び苦情等は
ございませんでした。

9、代表者による全体の評価と見直し・指示

(1) 全体評価

①環境管理システムについては特に問題なく、引き続き運用改善を推進してまいります。

②外部からの苦情・関連法規の違反はありませんでした。

(2) 見直し結果と変更指示

見直し項目	指示の有無	有の場合の指示事項等
環境経営方針	無	
環境経営活動の実施体制	無	
環境経営目標	無	
環境経営計画	無	
その他のシステム要素	無	

今期は電気量が増えてしまいましたが、温暖化によるエアコン等の使用頻度が

多くなったからかと考えます。

気候の変動により更にエネルギー消費量が増えるかと予想される為、細かく注意を払い

目標設定を考えていきたい。

総勢4名での会社の運営をしている為、それぞれの環境の事を個々に行うことは

大変なことです、数字にとらわれすぎないように、お客様を第一に考え、

当社の掲げる「建物の主治医」となるよう安全で住みやすい環境提案を心がけて欲しいです。

2024年5月28日

株式会社 共栄建設

代表取締役 関 公子